

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 日本製麻株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3306 URL <http://www.nihonseima.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 広太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中川 昭人 (TEL) 078-332-8251
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,825	14.8	76	260.6	87	206.1	51	192.7
2022年3月期第2四半期	1,590	△7.5	21	△65.0	28	△58.6	17	△75.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 233百万円(803.3%) 2022年3月期第2四半期 25百万円(122.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	13.96	—
2022年3月期第2四半期	4.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,191	2,417	37.8
2022年3月期	3,634	2,197	40.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,585百万円 2022年3月期 1,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	3.00	3.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,589	13.9	177	208.2	188	152.0	111	129.8	30.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	3,673,320株	2022年3月期	3,673,320株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	7,113株	2022年3月期	7,106株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	3,666,209株	2022年3月期2Q	3,666,217株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策や行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化に向けた動きがみられたものの、ウクライナ情勢の影響による原油や原材料価格の高騰、急激な円安進行など、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループにおいて、産業資材事業は海外取引のコスト試算を注視し、販売・購買における早期の価格交渉を行い利益確保に努めました。マット事業は業績の回復に向けた新たな顧客との製品開発を進めました。食品事業は生産設備の稼働率向上及び取引の採算性見直しに取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,825百万円（前年同四半期比14.8%増）、営業利益は76百万円（前年同四半期比260.6%増）、経常利益は87百万円（前年同四半期比206.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は51百万円（前年同四半期比192.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(産業資材事業)

黄麻商品は、輸入先インドの不安定な生産やコンテナ不足による船積み遅れを見越し早期受注に努めた結果、増収増益となりました。包装資材は、前年同四半期と同様の販売となりました。その結果、売上高は379百万円と前年同四半期と比べ37百万円(11.1%)の増収、営業利益は25百万円と前年同四半期と比べ7百万円(43.2%)の増益となりました。

(マット事業)

自動車用フロアマットの国内の販売は自動車メーカー減産の影響を受け減収減益となりましたが、海外の販売は新規販路の開拓を進め出荷数量を伸ばし増収増益となりました。その結果、売上高は792百万円と前年同四半期と比べ92百万円(13.2%)の増収、営業利益は8百万円（前年同四半期は0百万円の営業損失）となりました。

(食品事業)

パスタは、家庭用商品は値上げ基調のなか消費者の購買力低下により販売数量は伸び悩みましたが、飲食店向け業務用商品は行動制限緩和により回復してまいりました。レトルト商品は経費の増加などありましたが順調に推移しました。その結果、売上高は651百万円と前年同四半期と比べ104百万円(19.1%)の増収、営業利益は41百万円(前年同四半期は3百万円の営業利益)と前年同四半期と比べ38百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,191百万円、前連結会計年度末と比較して556百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加173百万円と原材料及び貯蔵品の増加118百万円、商品及び製品の増加60百万円、受取手形及び売掛金の増加45百万円、仕掛品の増加45百万円、投資有価証券の増加37百万円があったためであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,773百万円、前連結会計年度末と比較して336百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加143百万円と長期借入金(1年内返済予定を含む)の増加110百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,417百万円、前連結会計年度末と比較して220百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上51百万円による利益剰余金の増加40百万円、為替換算調整勘定の増加86百万円と非支配株主持分の増加98百万円であります。この結果、自己資本比率は37.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、2022年11月10日の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	816,970	990,058
受取手形及び売掛金	591,454	636,916
商品及び製品	212,946	273,316
仕掛品	170,107	215,428
原材料及び貯蔵品	199,958	318,237
その他	26,236	53,348
貸倒引当金	△224	△252
流動資産合計	2,017,450	2,487,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	199,845	195,148
土地	793,860	834,141
その他(純額)	105,745	103,416
有形固定資産合計	1,099,450	1,132,706
無形固定資産		
投資その他の資産	25,125	28,517
投資有価証券	433,404	470,492
関係会社出資金	11,123	12,137
繰延税金資産	24,037	30,229
その他	26,158	32,470
貸倒引当金	△2,225	△2,225
投資その他の資産合計	492,499	543,105
固定資産合計	1,617,075	1,704,329
資産合計	3,634,525	4,191,382
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	310,944	454,733
短期借入金	30,000	30,000
1年内償還予定の社債	95,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	154,812	181,963
未払法人税等	1,990	981
賞与引当金	14,800	51,110
その他	122,923	127,080
流動負債合計	730,470	885,870
固定負債		
社債	195,000	245,000
長期借入金	305,073	388,853
繰延税金負債	9,345	32,202
退職給付に係る負債	187,123	215,686
長期預り保証金	1,500	1,500
その他	8,647	4,277
固定負債合計	706,689	887,520
負債合計	1,437,159	1,773,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	564,343	564,343
利益剰余金	763,252	803,431
自己株式	△5,393	△5,396
株主資本合計	1,422,201	1,462,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43,152	△47,248
為替換算調整勘定	83,893	169,982
その他の包括利益累計額合計	40,741	122,733
非支配株主持分	734,422	832,879
純資産合計	2,197,366	2,417,991
負債純資産合計	3,634,525	4,191,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	1,590,442	1,825,201
売上原価	1,240,897	1,387,285
売上総利益	349,544	437,915
販売費及び一般管理費	328,221	361,032
営業利益	21,323	76,882
営業外収益		
受取利息	680	896
受取配当金	2,876	3,600
持分法による投資利益	-	590
為替差益	7,620	10,550
その他	2,020	3,032
営業外収益合計	13,198	18,670
営業外費用		
支払利息	3,660	3,791
持分法による投資損失	136	-
社債発行費	-	2,057
支払保証料	1,185	1,134
その他	907	931
営業外費用合計	5,890	7,914
経常利益	28,631	87,638
特別損失		
固定資産除却損	-	687
投資有価証券評価損	6,694	-
特別損失合計	6,694	687
税金等調整前四半期純利益	21,937	86,950
法人税、住民税及び事業税	4,064	5,289
法人税等調整額	△426	19,658
法人税等合計	3,638	24,948
四半期純利益	18,298	62,002
非支配株主に帰属する四半期純利益	814	10,824
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,484	51,178

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	18,298	62,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,133	△4,096
為替換算調整勘定	108	175,183
持分法適用会社に対する持分相当額	166	423
その他の包括利益合計	7,408	171,510
四半期包括利益	25,707	233,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,837	133,001
非支配株主に係る四半期包括利益	869	100,511

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、当該会計方針の変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	産業資材事業	マット事業	食品事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	341,819	700,258	546,767	1,588,845	—	1,588,845
その他の収益	—	—	—	—	1,597	1,597
外部顧客への売上高	341,819	700,258	546,767	1,588,845	1,597	1,590,442
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	341,819	700,258	546,767	1,588,845	1,597	1,590,442
セグメント利益又は セグメント損失(△)	17,670	△981	3,368	20,057	1,265	21,323

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)であります。

3. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	産業資材事業	マット事業	食品事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	379,649	792,990	651,030	1,823,669	—	1,823,669
その他の収益	—	—	—	—	1,531	1,531
外部顧客への売上高	379,649	792,990	651,030	1,823,669	1,531	1,825,201
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	379,649	792,990	651,030	1,823,669	1,531	1,825,201
セグメント利益	25,300	8,641	41,736	75,678	1,204	76,882

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

3. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。